

濃南中学校は、全校生徒は59人と少ないですが、広い校区の地域の方に大切にされ、たくさんの協力をいただきながら学校生活を送っています。そんな濃南中の目指す姿の一つである『地域に根差した学校』について、「地域から学ぶ」「地域へ貢献する」の2つの活動から紹介します。

（地域から学ぶ） → 地域に根差した学校 ← （地域へ貢献する）

▷総合的な学習の時間を「中馬の時間」とし、1年生は中馬馬子唄踊り、2年生は打ち囃子、3年生は作陶に取り組んでいます。毎週木曜日の6時間目に地域の方を講師としてお招きし、学年ごとの内容を学びます。10月には、3年生が学校裏の「希望の窯」で自分たちが作った作品を焼成します。どれもこの地域にしかない文化や財産です。

▷昨年度から、3年生の3学期に「地域の方の生き方に学ぶ授業」を取り入れ、地域で活躍してみえる方を講師として招き、その方の生き方に触れることで自らの生き方を考え、作文にまとめて同窓会入会式で発表しています。



▷濃南校区には江戸時代より伝わる「中馬街道」があり、学校のすぐ裏にも残っています。地域に伝わる文化財産を学び、大切にする活動として「中馬街道整備」を行っています。老人会の方々のご協力もあり、作業をしながら街道の歴史も学んでいます。

▷校区にある公民館の「地域の子どもは地域で育てる」という願いから、生徒が鶴里・曾木の両公民館でボランティアとして協力する機会をいただいています。全校生徒の半数近くが積極的に参加し、地域から守られるだけでなく貢献できる中学生となるよう、3年生を中心に活躍しています。



給食センター掲示板

小学6年生を「家庭の食育マイスター」に任命します

県教育委員会では、昨年度に引き続き、県内の小学校6年生を「家庭の食育マイスター」に任命します。

「食育マイスター」とは、児童が自分から食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることを自覚するとともに、それぞれの家庭で食育を話題にすることにより、児童を中心とした家庭内の食育を推進する取り組みです。

ご家庭・地域でも食育マイスターたちを支え、応援してあげてください。

食育マイスターとして

- ▷「食」について勉強しよう
食べ物の栄養や食事のマナーなど、勉強することはたくさんあります。
- ▷勉強したことを伝えよう
家の人に勉強したことを伝え、もう一度考えてみましょう。
- ▷お手伝いをしよう
準備、後片付け、買い物など、お手伝いを続けましょう。
- ▷計画しよう
誰のために、どんな料理を作るのか考えましょう。
- ▷作ってみよう
包丁や火の取り扱いには充分気を付けて、Let's cooking!
- ▷家族みんなで楽しく食べよう
心を込めて「いただきます」のあいさつをしましょう。食事は会話を楽しみながらゆっくりと。

学 校給食センターでは、食育マイスターから学校給食の献立を募集し、いくつかを給食に取り入れたいと考えています。保護者の方も、ぜひお子さんにエールを送ってください。

